



すきももせ

隙百生

自然の隙間に安らぎ空間を作る手法

熊野古道の脇道には倒木に苔が生え、割れ目からは新しい命が芽吹いている。
また、海には岩と岩の間にヤドカリが集団で住んでいる。
偶然できた隙間は生きる空間へと変化し、活用されている。
岩と岩の隙間に隙百生な集合場所を作る。
すると、人を待つ隙間時間に『ほっと一息』する空間に変化する。

